



沿革

享保2年 1717年

創業 / 山本家中興の祖惣兵衛は近在の庄屋として農民に広く素麺製造を奨励する。

1800年前後

以来、惣兵衛の子、藤吉は遠く販路を畿内に求め「素麺藤吉」として広く名を馳せ、以降代々製造業、問屋業に励む。

1900年前後

5代目辰蔵は高級素麺製造に勉め、東京進出を計る。

大正3年 1914年

東京「日本橋三越」の贈答用取り扱いで食品第1号となる。

昭和3年 1928年

「宮内省御用」の栄誉を賜る。

昭和4年 1929年

「阪急百貨店」創業以来、贈答用として取り扱い頂く。

昭和5年 1930年

山本製麺所設立

昭和7~8年 1932~33年

百貨店への本格進出始まる

昭和12年 1937年

製麺工場拡張。

昭和15年 1940年

食糧統制により、市中販売部門、閉業。6代目太三郎乾麺工業協同組合理事長に就任。
製粉工場新設山本製粉製麺所

昭和16年 1941年

軍需用保存食としての麺製造に専従。

昭和20年 1945年

山本太三郎商店（山本商店）

昭和21年 1946年

終戦後、農林省指定工場となる。

昭和25年 1950年

統制撤廃により、一般市販に復する。

昭和39年 1964年

7代目 山本太一 店主に就任。

昭和45年4月 1970年

東京営業所開設

昭和49年 1974年

法人組織株式会社三輪そうめん山本設立。

昭和55年 1980年

本社移転・落成

1994年

8代目 代表取締役社長 山本 太治 就任

2017年

創業300年を機に株式会社三輪山本に社名刷新

ブランドロゴマーク・白龍・白髪デザインを佐藤可士和氏へ申出

2019年

代表取締役会長 CEO 山本 伯子 就任

社名変更・ブランド刷新を推し進める

2021年

調理麺工場始動

内製化を図る

2023年

贈答用商品の化粧箱を全て紙製に刷新

2024年

三輪山本 大阪店 開業